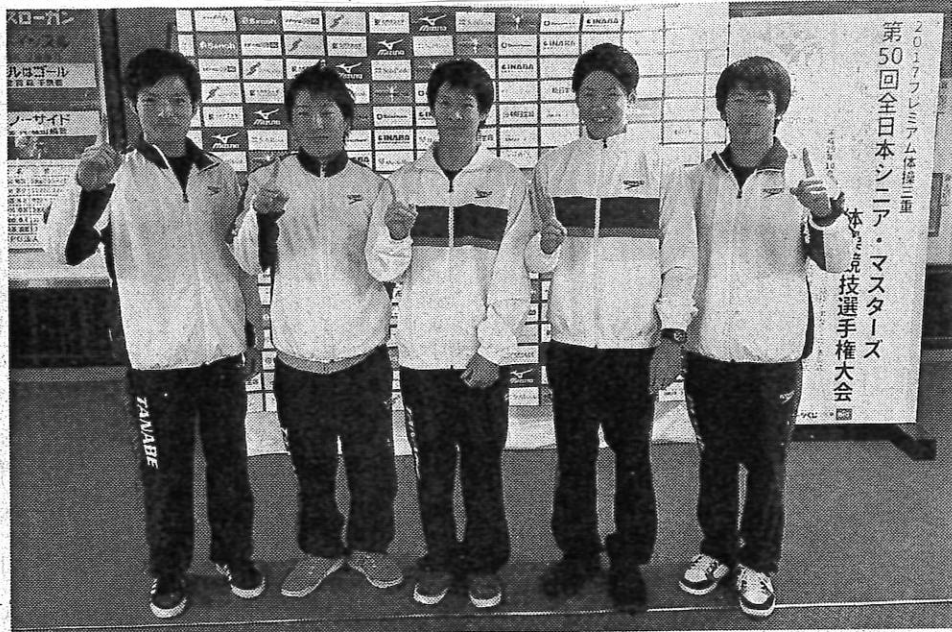


全日本マスターズ

田辺体操教室が優勝

個人総合で柴田快輝さん

第50回全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会が10月27～29日、三重県四日市市の市中央緑地体育館であり、マスターズの部で田辺市の田辺体操教室が優勝した。メンバーは田辺工業高校OBで、出場7年目で念願の初優勝を手にした。



全日本マスターズ体操選手権大会で優勝した田辺体操教室のメンバー(三重県四日市市で)

マスターズの部は全国から53チームが参加した。1チーム5人編成で、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目を演技した。団体はチームで上位3人の合計点数で順位を決めた。

田辺体操教室は、体操部がある明洋中学校と田辺工業高校のOBで構成する。監督の川間大志さん(33)は、幼児や児童を指導する同教室(田辺市中芳養)の代表。

メンバーは笹村昌宏さん(35) || 白浜町役場、柴田翔仁さん(26) || 田辺体操教室、柴田快輝さん(24) || 田辺市役所、新藤大知さん(23) || 田辺工業高、嶋津尚弥さん(24) || 東京技研 || の5人で、控えに岩本将広さん(33) || 高雄中学校 || が入った。それぞれ夜に子どもたちの体操を指導した後に体を動かすなどし、大会に備えてきた。

田辺体操教室は総合17.2・72.5点で、2位に2・07.5点差で優勝した。個人総

合では柴田快輝さんが優勝、柴田翔仁さんが5位に入った。種目別では柴田快輝さんがゆか、跳馬で優勝し、あん馬、平行棒、鉄棒で2位になるなど6種目すべてで同教室から入賞者を出した。主将の笹村さんは「どの種目も高得点を出して田辺の体操をアピールできた」と振り返った。川間監督は「これまでマスターズでは総合で2位や3位だった。出場7年目の今回は優勝を目標に練習時間を増やした。中学、高校を通じても団体で全国優勝したのは初めてなのでうれしい。それぞれの場所で体操の素晴らしさを

広めたい」と喜びを語った。大会は全日本シニア体操クラブ連盟、日本体操協会主催。シニアの部にはロンドン五輪トリオアジャネイロ五輪金メダリストの内村航平選手らが出場した。